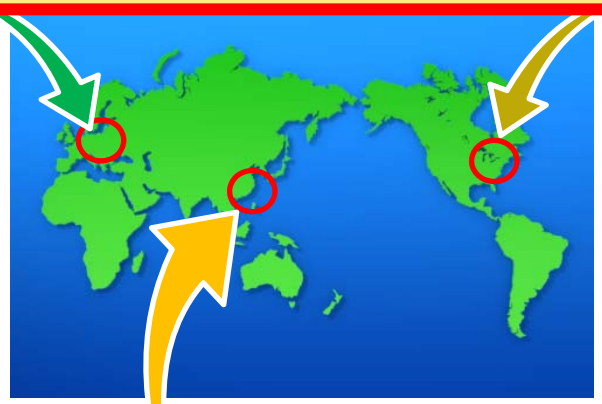
出口戦略：海外展開に向けて

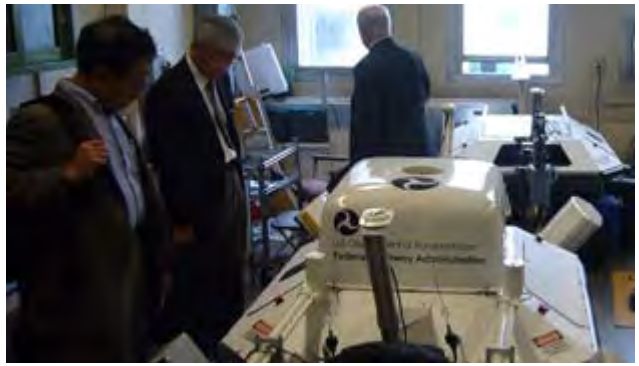
海外連携
6ヶ月長期インターン派遣

ドイツ・オーストリア

レヴァークーゼン橋



アメリカ



橋梁床版非破壊検査ロボット
（インパクトエコー，電気抵抗，超音波等搭載）

ベトナム

ベトナム交通運輸大学

国立建設大学

SIPインフラ維持管理に関する事業をアジアで展開するため、ベトナム交通運輸大学・国立建設大学との連携に合意

SIP連携

SIP インフラ

業務車両を用いた大規模路面評価

要対策橋梁抽出

SIP 自動走行

地図構造化タスクフォース

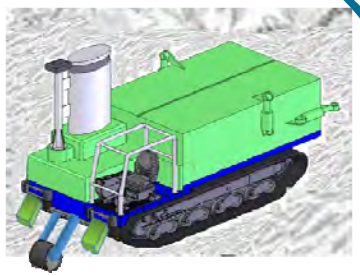
自己位置同定技術

SIP インフラ

常時のインフラモニタリング

要素技術連携

衛星SAR変位モニタリング



SIP 防災減災

災害後のインフラ被害状況調査

災害対応ロボット

今後の計画：　社会実装に向けて

2014　2015　2016　2017　2018

基盤技術に関わる研究開発　（点検・モニタリング・診断技術、構造材料・劣化機構・補修・補強、ロボット、情報・通信）

要素技術の研究開発期間

☞ 社会実装に向けた技術の展開期間（ブラッシュアップ）

アセットマネジメント技術の研究開発　応用展開

○基盤技術を組み合わせたアセットマネジメント技術の開発
○地方自治体のインフラ維持管理への展開
○国際展開へ向けた拠点形成

☞ 維持管理ガイドライン／マニュアルを整備
☞ 管理技術者がいない／未熟な地方自治体での円滑な点検管理業務を実施
☞ 点検コスト・点検時間の現状レベル以下を実現（目標20%減）
☞ 劣化・損傷に起因する事後保全から予防保全への転換
☞ インフラ構造物の余寿命を1．5倍以上に拡大

実用化に向けた技術の絞り込みを実施

社会実装に向け、<u>研究開発段階から実務展開に至るスムーズなフェイズシフト</u>を行う

A）ブレークスルー型プロジェクト
新たに実務で使えるようにするための新技術の開発　（新規性・有用性・波及効果・達成度で評価）

B）イノベーション型プロジェクト
作業効率や精度の著しい向上が可能な技術の開発　（適用性・実用性・波及効果・達成度で評価）